



このコーナーでは、病院職員と共にこの病院を支えてくださっている皆さんを紹介します。

## 「今日の一押しメニューは…」

1階食堂勤務 高野芳子さん

患者様やその家族、職員などが代わる代わる訪れる場所が病院1階奥にある食堂。会話をしながら楽しくお食事をする、ちょっと一息つける空間です。

この場所で、いつもお一人で利用者に食事を提供しているのが「明るい挨拶と清潔な食堂を心掛けております」と話す病院食堂勤務14年目の高野さん。

食事に来られる利用者に対しては「その方の思いに添うように」と優しく声をかけてその日の体調をお聞きしたり、その人なりの食事の量を見極めて微妙にご飯の量を調節できるのは、高野さんの絶妙な業とも言えます。

また、初めて来られて戸惑う利用者に給仕を止めて食券販売機の所まで行き、お盆をセットする姿は「やさしく丁寧に」をモットーにいつも当たり前のようにやっている日常の思いやりの一つかも知れません。

色々な人が行き交う場所で、温かい食の提供とともに色々なお話をしながら働くことに感謝しながら、また食堂の厨房に向かいます。



明るい接客を心掛ける高野さん

## 年頭所感

院長 中村 昌樹



新年あけましておめでとうございます。21世紀に入り、はや14年目、超高齢化はさらに進み、人々の価値観も多様化してきました。医療についても、必ずしも根治を目指すばかりでなく、最期までその人らしさを支える視点も求められるようになりました。医療の目指すべきは人々の幸福を支えることです。では幸福とは何か、人それぞれ感じ方は違うと思いますが、最近の心理学で明らかになってきたことは、人々の幸福感は人との関わりの中から生まれるということです。

森町は、健康寿命日本一の静岡県の中で、お達者度でナンバーワンでした。当院は、森町の底力を支える医療を目指していきたいと思います。今年もよろしくお願いいたします。

## 太陽光発電設備を設置しました。

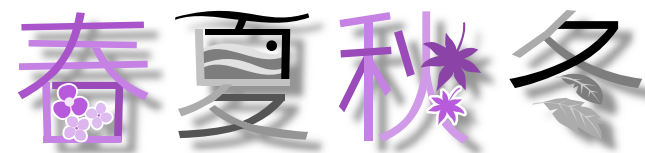


「独立型再生可能エネルギー発電システム等対策費補助金」と「公共施設省エネルギー機器及び新エネルギー機器導入事業助成金」により、家庭医療センター屋上に設置を進めていた太陽光発電設備が完成しました。

この設備で発電した電力は家庭医療センターで使用され、環境にやさしいエネルギー利用の促進を図ります。



太陽光発電装置



## 基本理念

患者さまの人権を尊重し、心の通った医療を実践することで、地域と共に在る病院を目指します。



病院ボランティア「かわせみ」の方々が花材を持ち寄り、病院玄関に新年を迎える生け花を飾っていただきました。毎年、ありがとうございます。

## 公立森町病院

〒437-0214 静岡県周智郡森町草ヶ谷391-1  
TEL. (0538) 85-2181 / 予約専用TEL. (0538) 85-0270

ホームページアドレス <http://hospital.town.morimachi.shizuoka.jp/>